

**2012年度
美術研究科
博士後期課程
学生募集要項**

多摩美術大学アドミッション・ポリシー

- ・芸術に対して広い視野を持つ人
- ・自由な発想を持つ人
- ・国際的に活躍する人
- ・想像力・表現力・審美眼を具えた人
- ・高度な創作・研究活動を探求する人

入試コンセプト

美術・デザインの全般に通じる幅広い見識と技量を備えた将来の指導的地位につく人材の養成と、学術研究の著しい進展や社会の変化に対応できる総合的な判断力を備えた芸術家や芸術理論家の養成を目指しています。細分化された個々の領域における研究をみるための「提出作品または提出論文」と、それらを包括的に編成した総合的な学問とのバランスをみるために「語学」「小論文」「口頭試問」を課しています。

募集人員

美術専攻

7名

出願資格

次のいずれかに該当する者。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者、および2012年3月までに授与される見込の者。
2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2012年3月までに授与される見込の者。
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2012年3月までに授与される見込の者。
4. 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2012年3月までに授与される見込の者。
5. 文部科学大臣の指定した者。
6. 本学において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者および2012年4月1日までに24歳に達する者。

個別の出願資格審査実施要項

博士後期課程出願希望者で「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力」があるかどうかの「個別の出願資格審査」を希望する者は、下記の書類を2011年10月28日（金）までに多摩美術大学入学センターへ提出してください。

◎申請手続書類

1. 博士後期課程出願資格審査申請書（所定用紙をダウンロードしてください）
<http://www.tamabi.ac.jp/admission/screening.htm>
2. 博士後期課程募集要項の出願書類のうち
研究計画書（43ページ）および推薦書（47ページ）

3. 学歴・職歴・研究歴、その他学力を証明する書類

(在籍・成績・卒業・在職証明書等)

4. 美術に関する実務・職務経験等の経歴書または作品資料

・経歴書：A4判で形式自由(できるだけ詳しく書いてください。)

・作品資料：ポートフォリオ(コピーでも可)

※外国の大学出身の場合、申請手続書類は英語もしくは日本語の書類に限ります。その他の言語の場合は、公的機関で認証を受けた日本語の翻訳文を添付してください。

◎審査結果の通知

2011年11月中旬に、審査結果を本人宛発送します。

審査終了後、博士後期課程出願資格審査申請書以外の提出書類は返却します。

出願資格を有すると認定された場合は、募集要項に従い出願してください。

◎出願・問い合わせ先：多摩美術大学入学センター

〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723

電話：042-679-5602 Fax：042-676-2935

E-mail：nyushi@tamabi.ac.jp

他大学院出身者の方へ

研究領域および指導希望教員を確認させていただきますので、2011年11月16日(水)までに「八王子キャンパス入学センター(電話：042-679-5602)」までご連絡ください。

出願期間

2011年11月24日(木)から12月2日(金)まで(郵送必着)

※12月2日(金)に限り13:00~16:00まで、八王子キャンパス入学センター窓口でも受け付けます。

受験上の配慮について

身体機能に障害があるなど、受験上および修学上特別な配慮が必要な場合は、出願に先立ち、2011年10月28日(金)17:00までに必ず「八王子キャンパス入学センター(電話：042-679-5602)」まで問い合わせてください。

なお、入学試験直前に骨折するなど、緊急に受験上特別な配慮が必要となった場合についても、至急、上記問い合わせ先までご連絡ください。

出願手続

次の中で該当する全ての書類を本学大学院所定の封筒で一括郵送してください。

=本学所定様式=

1. 入学願書[41ページ]

2. 研究計画書[43ページ]
3. 受験票[45ページ]
4. 受験票発行控[45ページ]
5. 推薦書(本学大学院修了者および他大学出身者のみ厳封のうえ提出)[47ページ]
6. 受験確認書(本学大学院修了見込者および本学研究生のみ厳封のうえ提出)[49ページ]
7. 振替払込受付証明書(大学提出用：検定料35,000円)[55ページ]

- 郵便局の窓口で検定料35,000円を払い込み、振替払込受付証明書(大学提出用)のみを提出。
- 郵便局の受付局日附印が無い場合は無効。(出願前に要確認)
- 日本国外から検定料を払い込む場合は、事前に八王子キャンパス入学センター(電話：042-679-5602)まで問い合わせたうえで、下記の口座に海外送金してください。
その際、必ず銀行所定の海外送金申請書のコピーを出願書類に同封してください。
なお、送金の際の手数料は振込人負担とさせていただきますのでご了承ください。

Paying Bank	Mizuho Bank, Ltd. jiyugaoka branch
Payee's Account No.	211208
Payee	TAMA ART UNIVERSITY
Bank Code	0001
Branch Code	0533
Swift Code	MHBKJPJT
Address	1-29-9 JIYUGAOKA MEGURO-KU TOKYO JAPAN

※送金方法についての問い合わせは経理部(03-3702-1150)までお願いします。

8. 入試通知ラベル[57ページ]

- 『受験票受取先』と『合格通知受取先住所』を記入してください。
- 日本国外へ送付を希望する場合は、英語で記入してください。

=出願者が用意するもの=

9. 提出作品資料(作品を提出する者のみ)

- 入学試験期間中(搬入2012年1月25日～搬出2012年1月28日)に大学に提出できる作品の資料。(過去2年以内の作品および修士作品に限ります。)
- 各作品の①写真②作品名③作品の種類④材質・形式⑤サイズ⑥重量⑦提出希望順位を明記した資料を提出してください。
- 提出作品は、志願者全員の作品設置面積を勘案して1人1～3点以内で決定・指示します。
(提出希望順位とは異なることがあります。)

10. 論文およびその要約(論文を提出する者のみ)

- ・ 修士論文および刊行論文を3点以内(コピー可。執筆中の場合は出願前に申し出てください。)
- ・ 論文内容の要約(2000字程度。日本語に限る。)
- 提出論文には、自己の記述であることを証明する出身大学院等の主任教員等の証明書(提出作品等証明用紙[51ページ])を必ず添付してください。ただし、本学大学院博士前期課程(修士課程)修了見込者および研究生については不要です。

11.写真

- 同一のもの3枚。(入学願書、受験票、受験票発行控に貼付)
- 半身像、無帽、無背景、縦4cm×横3cm、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。
- 裏面に氏名を必ず記入。
- 原則として、受験票発行控に貼付された写真を利用して、入学後から卒業まで使用する学生証を作成します。

12.出身大学院等の成績証明書と修了証明書(または修了見込証明書)

- 本学大学院出身者は不要(在学学生含む)
- インターネットで発行された証明書の提出は認めません。

13.日本語学校の成績証明書および出席証明書(外国人留学生のみ)

- 2010年4月以降に日本語学校に在籍している者または在籍していたことがある者のみ提出。
- 本学大学院修了見込者および本学研究生は提出不要。
- 学校の公印が押された正式な証明書。

14.パスポートの写し(外国人留学生のみ)

- 顔写真ページおよび、在留資格・期間が明示されているページのコピーを提出してください。

注意：5.12.13の書類は英語もしくは日本語に限ります。その他の言語の場合は、公的機関で認証を受けた日本語の翻訳文を添付してください。

：出願書類に不備・不足があった場合は、原則として受理しません。

：**いったん受理した提出作品資料・修士論文その他全ての提出物および検定料は事由のいかんを問わず返還しません。**

：入学志願者と出身大学院の証明書等と姓または名が異なる場合は、同一人物であることを証明する書類(戸籍抄本等)も提出してください。

：提出作品資料または提出論文が本学所定の封筒に収まらない場合は、

①提出作品資料または提出論文を除く書類を本学所定の封筒に入れてください。その封筒と提出作品資料または提出論文をあわせて、受験生本人が用意する封筒等に入れてください。

②封筒等の表に「大学院入試提出書類」と朱書きし、簡易書留等の記録が残る方法で「〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723 多摩美術大学入学センター」まで送付してください。

：出願書類に虚偽の記載をした場合は入学取消もしくは退学勧告となることがあります。

入学願書の記入について

受験志望語学

外国人留学生のみ英語、日本語のいずれかを選択して○で囲んでください。

論文指導教員

博士論文の指導については、40ページの「大学院美術研究科博士後期課程論文指導教員」の中から大学が指名します。

実技指導教員

15ページの「大学院美術研究科教員構成」を参照し、志望する専攻・研究領域から実技指導(芸術学専攻については論文指導)を希望する教員を1名記入してください。(ただし入学後の指導教員については、大学が指名します。)

緊急連絡先

入学試験に関して連絡をする場合があります。外国在住者は、日本国内の連絡先を記入してください。

受験票について

1. 受験票は、2012年1月10日(火)までに届くように発送いたします。同日までに届かない場合は、早急に八王子キャンパス入学センター(電話：042-679-5602)まで申し出てください。
2. 受験票は入学式当日まで必要なので、大切に保管してください。
3. 受験票は再発行しません。

入学試験会場

多摩美術大学八王子キャンパス 東京都八王子市鎌水2-1723

※53ページ『美術研究科入学試験会場(八王子キャンパス)への交通』参照。

選考方法

提出作品または提出論文、語学、小論文、口頭試問、提出書類等を総合して選考します。

※過去の入学試験問題については、以下のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.tamabi.ac.jp/admission/past.htm>

入学試験日程

2012年1月25日(水) 作品搬入

受付 13:00~14:00 (17:00までに設置完了のこと)

※提出作品には、自己の制作であることを証明する出身大学院等の主任教員等の証明書(提出作品等証明用紙 [51ページ])を必ず添付してください。ただし、本学大学院博士前期課程(修士課程)修了見込者および研究生については不要です。

※提出作品資料とは別の作品ポートフォリオおよびその他資料を提出する場合も、この日に持参してください。

※受験票を必ず持参してください。

※作品の搬入・設置は自己責任で本人が行ってください。

※設置に必要な消耗品は、各自で用意してください。

※設置に必要な備品については、大学院研究室に問い合わせてください。

※提出期間中の設置不備による作品の落下・転倒等については、大学は一切責任を負いません。

※映像作品の場合、再生機材等は各自で用意してください。

2012年1月26日(木) 語学、小論文

語学 10:00~11:30

日本人—————英語 ※辞書持込可(ただし、電子辞書は不可)

外国人留学生——日本語・英語よりどちらか選択 ※辞書持込可(ただし、電子辞書は不可)

小論文 12:30~14:30

日本語・英語よりどちらか選択 ※辞書持込可(ただし、電子辞書は不可)

2012年1月27日(金) 口頭試問

日本語で実施します。時間については1月26日(木)に指示します。

※志願者が多い場合は、1月26日(木)にも実施する場合がありますが、その場合は1月25日(水)に指示します。

※当日、口頭試問担当教員に別途資料等を閲覧・配布することはできません。

2012年1月28日(土) 作品搬出

受付 13:00~14:00 (17:00までに搬出完了のこと)

※受験票を必ず持参してください。

採点基準

小論文	<ul style="list-style-type: none">・着実な論理構成がなされているか・与えられたテーマに対する主体的な発想があるか・学位取得論文を執筆し得る言語表現能力を有しているか
提出作品・提出論文	<ul style="list-style-type: none">・学位取得作品・論文へと展開する可能性があるか否かを総合的に判断する
口頭試問基準	<ul style="list-style-type: none">・提出作品の質・小論文の内容・語学試験の結果について、どのように本人が認識しているか・課程入学後の作品制作・論文執筆について、どのような方向性を考えているか・自己の見解を論理的かつ明快に語る能力を有するか

合格発表

2012年1月31日(火) 13:00

[発表方法]

- ①八王子キャンパス「受験生掲示板」で、受験番号により掲示発表
- ②合格者への合格通知、入学手続き書類の発送(受験票送付先住所)
- ③ホームページで、受験番号により簡易発表 (<http://www.tamabi.ac.jp>)

[合格発表に関する注意]

※電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

※合格通知をもって正式な合格とします。

入学手続

2012年2月13日(月)まで(消印有効)に納入金を振り込み、入学手続き書類を郵送してください。

※外国人留学生で、2012年2月以降に入国管理局より「在留資格認定証明書」または「在留資格『留学』」が不交付となった場合は、自動的に入学取り消しとなります。また、2012年4月1日までに「在留資格『留学』」を取得していただく必要があります。

学費

2012年度の学費は未定のため、2011年度の学費を参考に掲載します。

	入学時	9月	合計	備考
入学金	200,000円	—	200,000円	入学時のみ。本学出身者は不要。
授業料	610,500円	610,500円	1,221,000円	
施設費	120,000円	120,000円	240,000円	
維持費	25,000円	25,000円	50,000円	
実習費	16,000円	16,000円	32,000円	
合計 (本学出身者)	971,500円 (771,500円)	771,500円 (771,500円)	1,743,000円 (1,543,000円)	入学時・9月に分納可。

入学金：

入学時のみ [他大学出身者のみ]

私用材料等一括購入預り金：

専門分野により、学費とは別に私用な材料・消耗品・工具・研修等に充当する預り金を徴収します。

版画 = 30,000円、工芸 = 30,000円

校友会費：

終身会費：30,000円 (代理一括徴収) [他大学出身者のみ]

注意：入学手続きを完了した方が入学を辞退する場合は、納入金返還願 (本学所定用紙) を2012年3月23日 (金) までに提出してください。入学金を除く納入金を4月中旬に返金します。

次年度以降の納入金：

次年度の学費等納入金は、決まりしだい学内掲示板およびホームページでお知らせいたします。

※直近5年間の改定状況としては、2010年度に授業料、2011年度に実習費を引き下げました。

試験当日の実施情報

試験当日の実施に関する情報を下記の携帯電話サイトで確認できます。天候や公共交通機関の運行状況等により、試験開始時間に変更がある場合はこちらでお知らせします。(PCからも参照可)

<http://tamabi.jp/adm>

入学

八王子キャンパス (東京都八王子市鎌水2-1723) に入学します。

受験上の注意

1. 必ず試験開始30分前までに試験場に入場してください。
2. 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
3. 遅刻した場合は、いかなる理由であっても試験時間は延長しません。
4. 受験票を持参しないと試験場に入場できません。受験票を忘れた場合は入学センターに申し出てください。
5. キャンパス内では大学係員の指示、注意に従ってください。
6. 試験が午後にわたる場合は昼食を持参してください。キャンパス外に出ることはできません。
7. 用具などの貸し借り、共用は認めません。
8. 各自の試験場および指定された場所以外には立ち入らないでください。
9. 試験場内に時計はありません。必要な方は各自持参してください。ただし、携帯電話および計算・辞書・通信・撮影機能などがある時計の使用は禁止します。
10. 試験中は、通信機器（携帯電話・PHS・PC等）の電源を必ず切ってください。
11. キャンパス内に自動車等車両の乗り入れはできません。
12. 試験当日、大学・駅周辺において、合否電報・電話等を扱っている業者があっても、これらは本学と一切関係がありません。
13. 本要項に変更があった場合は、試験当日に指示します。

個人情報の取り扱いについて

本学では、2012年度入学試験時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な安全管理を行います。

個人情報の取り扱いについて不明な点等がありましたら下記連絡先に問い合わせてください。

願書提出先および入学試験に関する問い合わせ先

〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723
多摩美術大学入学センター
電話：042-679-5602
FAX：042-676-2935
E-mail：nyushi@tamabi.ac.jp

大学院美術研究科 博士後期課程 論文指導教員

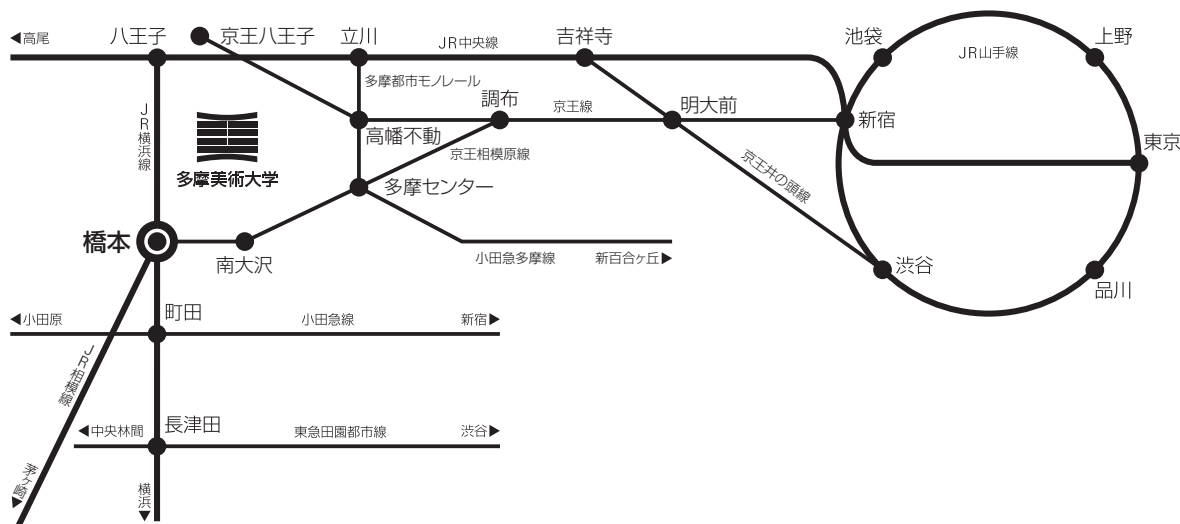
教員名	プロフィール
教授 久保田晃弘	1960年生まれ／東京大学大学院工学系研究科船舶工学専攻博士課程修了・工学博士／ハイブリッドな自作楽器を用いた音響映像作品の制作と演奏を通じて、デジタル、ノイズ、アルゴリズム、即興、計算、生成などに関する考察を続ける。近年、細胞や生体を素材としたバイオメディア・アートとオープンなデジタル工房のネットワークであるファブラボに関するプロジェクトを開始。近作に『マテリアルAV－共鳴するインターフェイス』（ntt/icc, 2003）、『コードの技法：弦楽四重奏曲第2番“Reflective Intervals”』（ZAIM Yokohama, 2008）、『純粹φ－Abstract Painterly Interface』（YCAM, 2008）、著書に『消えゆくコンピュータ』（1999）、『ポスト・テクノ（ロジー）ミュージック』（2001）、『デザイン言語』（2002）、『改訂新版200ジャズ語辞典』（2007）、『創造性の宇宙－創世記から情報空間へ』（2008）、『Beyond Interaction-メディアアートのためのopen Frameworksプログラミング入門』（2010）などがある（共著含）。 http://homepage2.nifty.com/~bota/
教授 島尾 新	1953年生まれ／東京大学文学部美術史学科卒業、同大学院美術史学専門課程修士課程修了／専門は水墨画の歴史。とくに雪舟については25年ほど研究テーマとしている。東京国立文化財研究所では、美術情報データベースの構築、絵画の科学的分析などにも関わった。著書に『水墨画と語らう』新潮社など。
教授 中村 隆夫	1954年生まれ／上智大学文学部フランス文学科卒業、慶応義塾大学大学院美学美術史修士課程修了／3回の「ピカソ展」、「ヘミングウェイの愛した街」、「没後50年－モーリス・ユトリロ展」、「パリのカフェと画家たち展」、「ラウル・デュフィ展 海と音楽－そしてパリ」など約20本の展覧会を監修。著書に『象徴主義－モダニズムへの警鐘』、訳書に「キュビズム」、「ピカソの世紀」他。最近ピカソ・ゴッホなどでテレビでコメントを求められる機会が多いです。
教授 西嶋 憲生	1952年東京生まれ／東京大学文学部社会学科中退／1978年美術出版社芸術評論賞入選を機に、映画・映像の研究者・批評家として執筆・翻訳。映画書の編集や月刊イメージフォーラム編集長の後、東京造形大学、東京大学教養学部、早稲田大学文学部等の非常勤講師を経て現職／実験映像をはじめとする映像芸術・映像文化の歴史と理論を研究／著書に『映像表現のオルタナティブ1960年代の逸脱と創造』（編著）、『映像表現の創造特性と可能性』（共著）、『美術×映像』（共著）、『生れつつある映像 実験映画の作家たち』ほか。翻訳に『アンディ・ウォーホル・フィルム』ほか多数。
教授 本江 邦夫	1948年松山市生まれ／76年東京大学大学院修士課程（近代美術史）修了／同年秋東京国立近代美術館に入り、マチス（81年）、ゴッゲン（87年）、ルドン（89年）などの回顧展を手がける一方で、国際的なグループショー「メタファーとシンボル」（84年）を皮切りに「手塚治虫」（90年）、「黒田アキ」（93年）、「辰野登恵子」（95年）などの現代的な企画に関与。1994年、96年にはサンパウロ・ビエンナーレの日本側コミッショナーを務める／主要な著書として『●▲■の美しさって何？－20世紀美術の発見』（ポプラ社；平凡社）、『キュビズムと抽象美術』（小学館、共・編著）、『絵画の行方』（スカイドア）、『オディロン・ルドン』（みすず書房）、『現代日本絵画』（みすず書房）などがある。98年春より多摩美術大学教授（現在に至る）。2001年4月より09年3月まで府中市美術館館長を兼任。
教授 諸川 春樹	1953年生まれ／東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学／「美術は人生の栄養」をモットーに学生諸君と作品鑑賞のスリルと面白さを味わっている／編著、訳書に『フィレンツェ・ルネッサンス』『等身大の巨匠たち』『西洋絵画史WHO'S WHO』『西洋絵画の主題物語』『西洋絵画史入門』ピーター・バーク『時代の目撃者』など。
准教授 山本 政幸	1967年生まれ／筑波大学大学院博士課程芸術学研究科芸術学専攻単位取得退学／英国レディング大学大学院タイポグラフィ&グラフィックコミュニケーション専攻修了／博士（デザイン学）／専門はデザイン学、タイポグラフィ論、印刷メディア論／主な論文に「1930年代イギリスにおけるニュー・タイポグラフィの導入」『グラフィックデザイン1930：版画、写真、タイポグラフィ、アイソタイプ』（富士ゼロックス、2007年）、「日本語タイポグラフィにおける欧文書体の混植」『図録タイポグラフィ・タイプフェイスのいま。－デジタル時代の印刷文字』（女子美術大学、2004年）など／日本デザイン学会、国際タイポグラフィ協会（ATypI）、意匠学会、デザイン史学研究会会員。

- ・名誉教授 辻 惟雄
- ・名誉教授 李 禹煥
- ・客員教授 馬越 陽子
- ・客員教授 横尾 忠則

※実技指導（芸術学の論文指導を含む）に関しては、各研究領域担当教員が指導にあたります。

美術研究科入学試験会場（八王子キャンパス）への交通

入学試験会場：多摩美術大学八王子キャンパス（東京都八王子市鎌水2-1723）Tel. 042-676-8611（代表）



八王子キャンパス最寄駅（橋本駅）からの路線バス利用について

多摩美術大学八王子キャンパスまでは、橋本駅からの路線バスを利用してください。バスの円滑な運行のために、あらかじめ小銭やスイカ・パスモ（ICカード）を用意し、整列乗車にご協力ください。

橋本駅からの路線バス（北口6番乗場より神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」）

運賃：片道170円 多摩美術大学（終点）まで約8分

【主要駅から橋本駅までの交通】

新宿駅から

京王線新宿駅「橋本行（急行・通勤快速・快速）」を利用。所要時間約42分。
「京王八王子行（特急・準特急・急行・通勤快速・快速）」「高尾山口行（準特急・急行・通勤快速・快速）」を利用する場合は、調布駅で橋本行に乗り換え。所要時間約42分。

八王子駅から

JR横浜線を利用。所要時間約12分。

横浜駅・町田駅から

JR横浜線「八王子行」「橋本行」を利用。横浜駅から所要時間約50分。町田駅から所要時間約15分。

上記以外の路線バスを利用して大学に来ることもできますが、時刻表や所要時間を調べたうえで利用してください。

※八王子駅から路線バスやタクシーを利用する場合は、国道16号線の道路事情や降雪など不測の事態で遅れることがありますので、十分ご注意ください。

注意：入学試験期間中、キャンパス内に自動車等車両の乗り入れは一切できません。入学試験会場の下見、入学試験当日、合格発表日など、八王子キャンパスに来校の際は、路線バスを利用してください。
：時刻表や所要時間を調べたうえで利用してください。

路線バス運行・遺失物に関するお問い合わせ 神奈川中央交通（株）多摩営業所 Tel. 042-678-6550
京王バス南（株）南大沢営業所 Tel. 042-677-1616

